

Philips CT Smart Workflow: 臨床現場における感染症対策、効率化、 診療精度向上をもたらす革新的なツール

株式会社フィリップス・ジャパン CTモダリティセールススペシャリスト | 井谷健太

はじめに

近年、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行により医療現場は大きな変革を余儀なくされている。医療従事者たちは、通常診療とCOVID-19患者への

診療の両立や、医療スタッフの不足という課題に直面し、非常に難しい状況下で業務を遂行している。

さらに、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことで、各医療施設では、国からの補助金の軽減措置が予想される一方、感染防止対策にかかる費用の増加が懸念されている。

高齢化が急速に進展する中で、経営悪化と安全・品質確保の課題を抱えている。

こうした中、フィリップスは、2021年より最新の128スライスCTであるIncisive CTに、CT Smart Workflowのコンセプトを取り入れ、AIアルゴリズムを活用したさまざまな機能の搭載を実現してきた(図1)。

CT Smart Workflow

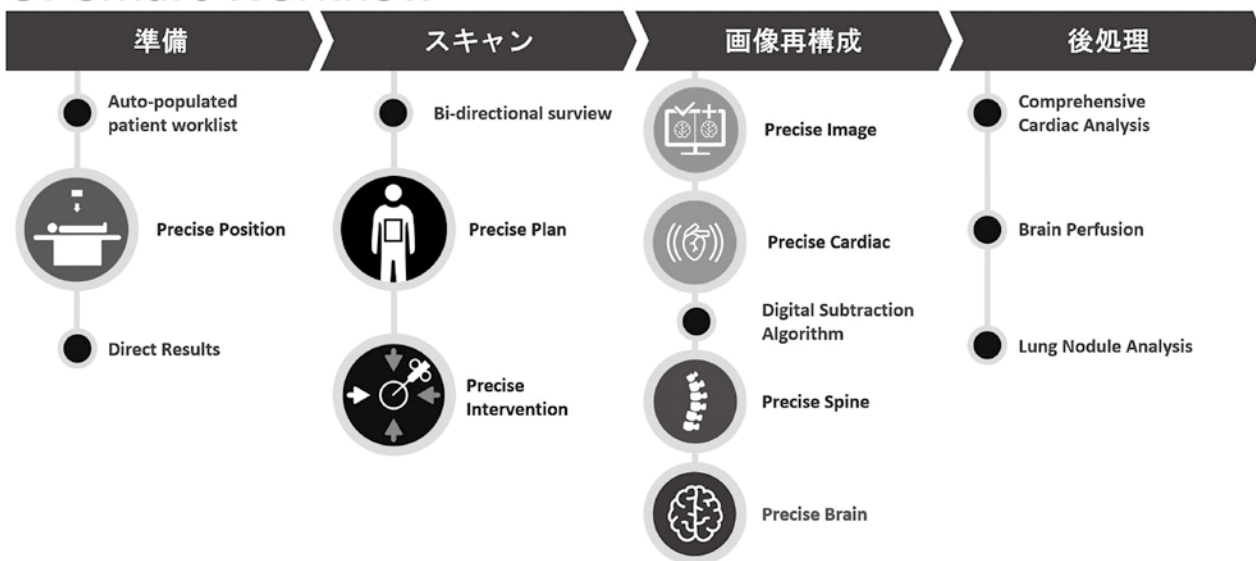


図1 Philips CT Smart Workflow